

■カフェらいさーオープン■

4/14 (土) かながわフロンティア・ネットワーク初の事業としての「カフェらいさー」の開所式と、労協湘南事業所の辻堂つどいの広場「ご縁」1周年を祝い会が合同で行われました。花冷えのする雨の中、「ご縁」の利用者、地域の皆様など約 60 人が集まり開所を祝いました。



安村会長から「カフェらいさー」は神奈川事業本部とフロンティアネット、『かながわ田園福祉構想』を打ち出し、農業実習や食事業を盛り込んだ基金訓練講座・社会的事業者コースを開講。その取り組みから「カフェらいさー」が生まれたと経緯を紹介。「食と農を通じて社会貢献したい」との思いを持った受講生 3 人が、「ご縁」の活動のない日に「カフェらいさー」をオープン。

フロンティアネットとして、内閣府地域社会雇用創造事業の起業家未来財団社会企業プラン・コンテストに提案し、200 万円の支援金を得ることもできました。

19 日 (木) から営業開始、農業実習でお世話になった茅ヶ崎の農家、島邑さんからの安心・安全な野菜も 1 時間で完売。お客様の「キャベツ無いの?」という声を受けて原さんが急遽ご自分の畑から提供、大変喜ばれました。当面は火・木を一般に、月・水・金を「ご縁」の利用者に野菜スープと米粉のパン・ケーキなどを提供。

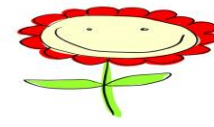


責任者の村上さんは「パン屋が目的ではなく、これをモデル事業として採算がとれ継続できる仕組みを通して、新しい経済原理を見つけたい。農業実習で農家の高齢化や耕作放棄地の存在を知り、団塊世代を農に取り込みたい」と夢を語っています。

(詳細は総会の典型報告をお楽しみに!)

編集後記

23 年度の活動も残り 2 ヶ月となりました。今期は田園福祉構想、職業訓練、買物支援の 3 つのプロジェクトを柱に進めてきました。総会には城南信金の吉原理事長がご講演頂きます。総会参加の呼びかけを進め、さらに会員の拡大にも取り組みましょう。みんながしあわせに暮らせる社会の実現に向けて、共に一歩を踏み出しましょう。(須山)



♪宝島訪問♪

三月十三日 (火) 座間市にある NPO 法人宝島(理事長・井上陽子氏)をかながわフロンティア・ネットワークのメンバー 9 人で訪問。宝島はハンディのある人もない人も、安心できる居場所づくりをする団体として、二〇〇二年障がい児・者の余暇活動支援としてリリースペース宝島を設立。〇五年に NPO 法人取得、障害者の日中一時支援や生活支援、就労支援、子育て支援にも取り組んでいます。三年前から畑の取り組みを開始、現在四〇〇坪の畑を障害者と共に開墾。じゃがいも、サツマイモ、ねぎ、生姜など多様な野菜を栽培し、直売や親の会が週 1 回弁当販売をしています。また乾燥機も日本財団の助成を受けて所有、乾燥野菜や野菜パウダーとしても販売するなど多様な加工方法によりロスを極力減らす工夫をしていました。「カフェらいさー」でも大変参考になる取り組みでした。



第3回総会

吉原さん決定!

日時: 6/23 (土) 14 時開会
会場: 日本大学生物資源科学部

- ・ 記念講演
- ・ 議案提案・まとめ
- ・ 決算及び収支予算提案
- ・ 監査
- ・ 役員改選
- ・ 典型報告

- ① カフェらいさー(フロンティアネット)
- ② 買い物支援〜くらしサポート

(キュービック)

- ③ FEC・農への取組み(センター事業団)

※閉会後の交流会にもご参加を!

記念講演
城南信用金庫理事長 吉原 毅氏



信用金庫としてトップクラスの城南信用金庫が、脱原発宣言を「原発に頼らない安心できる社会へ」と宣言、東京電力との契約を解除し、自然エネルギーや民間の余剰電力を購入し販売している電力会社への契約に切り換えた城南信用金庫の吉原毅理事長をお迎えして記念講演を行います。脱原発とともに、「目先に埋没せず、明日につながる仕事をしよう」「お金さえ、自分さえ、という社会を、協同し助け合って生きていく社会に」作り替えていくために、いま私たちに何ができるのか、お話しを伺いみんなで考えましょう。

次回は定例会: 5/24 (木) 15 時~ 於: 労協神奈川事業本部
平成 23 年度の会費徴収、総会案内チラシ配布